

特別研修「障害がある子どもへ読書支援をする大人の役割」
 ～読書バリアフリー研究会 in 国際子ども図書館～
 アンケート回答（2019.5.18）

参加者 **144**、アンケート回収 **120**

1. この講座をどちらでお知りになりましたか。

新聞・雑誌	0	
ちらし・DM	31	
友人・知人の紹介	26	
ウェブサイト・ブログ	23	当財団 HP 7、国際子ども図書館 HP 5、SNS 2
メールリスト	25	国際子ども図書館 9
その他	13	職場 6、図書館 1、出版協会 1、音訳会グループ 1、ボランティア団体 1、当財団 1
未記入	2	
合計	120	

2. 今回の講座の満足度をお聞かせ下さい。

満足	やや満足	やや不満	不満
100	19	1	0

その理由をお聞かせ下さい。

満足の理由
<ul style="list-style-type: none"> ・「読書バリアフリー研究会」の参加は、3 回目ですが、毎回新しい内容が取り入れられていて勉強になります。今回は「わかりやすいってどういうこと」のお話が参考に、なりました。一人一人の障害に合わせたコミュニケーションの工夫をしたいと思います。また、マルチメディア DAISY の普及も心がけたいです。午後の井上先生のお話は、もう少し時間をかけて伺いたかった。 ・どの講師のお話も具体的で分かりやすく、たくさんのヒントをいただくことができました。国際子ども図書館内で開催していただき、子ども図書館の取り組みも伺えてよかったです。 ・知らない本の紹介、読み聞かせのポイントをお聞きできて良かったです。井上先生はたくさんのお子さんに関わってきて、私にとって初めて聞くお話に、とても説得力がありひきこまれました。すべての子どもに気づいてあげられるか、と思いますが、支援の必要なところにお伝えできたら、という思いを新たにしました。 ・情報のバリアをなくす、その方法を手渡していくこと、人が人に出会ってお互いの間にある「障害」をなくすことを一緒に取り組んでいられる先生方の実践を聞くことができたことがとても嬉しいです。 ・国際子ども図書館の見学対応のお話で、プログラムの例をもう少し聞きたかった。 ・すべての講座がとても貴重で楽しく過ごさせていただきました。 ・音訳のボランティアをしております。今日の講座で重要性が更にわかりました。今後は「心」「思い」をさらに込めることができると思います。 ・様々な立場の方々の貴重なお話を聞くことができて、とても良かったです。 ・読書支援をする上で実際にどうしたら良いのかの前に、障害の感覚を少し感じることはじめにできたのが良かったです。障害の種類の羅列よりも、まずは相手がどう大変なのか理解の一步になりました。事例や、児童の体験が豊富で今後、私たちも何かできるところからやってみようと勇気づけられました。 ・具体的な現場のリアルなお話を伺えて、大変ためになりました。特別支援学校での読み聞かせを手

さぐりで行い、早4年目です。疑問や悩みを共有できる人がなかなかいないので、4年目ともなると、マンネリ化したり迷ったりも多いです。今回の研修で気持ちが少しUPし、また現場で頑張れるような気になっています。

- ・プログラム順、流れがとても良かったです(障害についての理解・法的な事を含め—その実技—そこまで至る段取りの具体)。分かりやすく自分が当事者の方と関わられるイメージができました。
- ・資料が丁寧で大変ありがたいです。スライドがほぼ全て印刷されているので、復習になります。おはなし会の団体の仲間と共有しやすいです。
- ・学校現場で、日々子どもたちと接しています。本日の研修では、具体的な関りや、おはなし会の実際についても体験することができ、参考になりました。打浪先生の概論もカードを使ってのワークなどがすぐ使える手法で助かります。支援の場で一人一人のお子さんが、どんな状況で本を楽しむことができるのか?という私の問いに多くのヒントをいただきました。
- ・とても具体的な話が多くて、楽しかったです。体験、経験の共有→先輩から後輩への伝達ってとても大事です。40年公務員がつないできた経験が、民間・非正規でトギレトギレになっていってしまうことが寂しい。いろんな形で情報が拡散してつながっていけることが嬉しい!
- ・本日久しぶりに、対子ども、青年に向かって読書を支援する読みきかせという手法・実践を拝見しました。非常に貴重な体験で楽しかったし、すごく嬉しいです。教育する、話す立場で、子ども、青年、大人と話すことについての実践とモデルが見られたこと、大切なことと思います。
- ・学習や読書に困難のある児童、学生は本当に多く、不登校のお子さんのなかには高い割合でLD等の為、つまりいた人が含まれると思う。そうした人たちが学ぶ機会を得る努力をされている方がおられるのが分かって良かった。もっと拡がって当たり前のサポートとなり、皆の学ぶ権利が守られると良いと思う。
- ・とても盛りだくさんの内容でした。今までほとんど意識してこなかった部分についてよく学べたと思います。
- ・子どもたちがどんな心理状態なのか、何に困っているのかがよく分かりました。
- ・様々な立場からの内容で、有意義であったと思います。日ごろは孤独を感じることの多い作業ですが、このような集まりがあると、同じ志をもった大勢の仲間のエネルギーを感じ、また力が湧いてきます。
- ・①打浪先生から子どもの障害の姿、気をつけなくてはいけないことについて、障害について知らないことが多かったのでとても勉強になりました。②浅沼先生からは実際に実施されたおはなし会の再現があり、非常に参考になった。読んでもらう楽しさを久しぶりに味わい、いい時間は子どもにとって大事だと思いました。③井上先生、読みの支援が理解になること、理解することができました。初心者で分からないことが多かったので、勤務する学校図書館で他の人にも伝えます。
- ・一つ一つの課題が分かりやすかった。背景の実践等々、内容が充実しており大変参考になった。
- ・現場で活躍されている方々の生の話を聞かせていただきとても感激しました。なかなか思っていることをどうしたらいいのか困ることばかりですが、これからの参考にしたいと思います。
- ・それぞれ違う現場からのお話が伺えてとても良かったです。
- ・プログラムの充実度、資料の充実、講師の多様さ、無料であること。
- ・何が平等であるかということ、それぞれ違うテーマで先生方に教わったため、自分が良いと思っていた紙の本が全ての人にそうではないことを教わった。
- ・特別支援学級の読書支援の依頼が多くなった現場を持ち、最新の取組等を知りたくて参加しました。実際、読み聞かせの選書から、支援の資料提供を行っています。一人一人に本を手渡す立場におり、児童、生徒たちの様子を思い浮かべながら受講できました。
- ・井上先生のご対応がすばらしく、涙しました!
- ・わかりやすかった。
- ・様々な学びがあり、参加して良かったです。

- ・「わいわい文庫」という素晴らしいものに出会い、是非学校や近所の図書館などで使用できたらと思いました。
- ・井上先生の話、素晴らしかったです。
- ・公共図書館に勤務していますが、日ごろのサービスの中で感じていることの確認だけでなく、全くわからなかった子どもの現状を知ることができ、大変考えさせられるところがありました。できるところからにはなりますが、今日の学びを生かしながら、すべての子ども(だけでなくすべての人)への支援のあり方を考えていきたいと思います。
- ・図書館サイドからの認識、意見だけでなく、知的障害とは何か、国の動きはどうか、学校での子どもの生活などのことが具体的に分かりました。障害のある子どもの置かれた状況とは何か。それに対して読書を中心とした働きかけはどういう可能性、意味があるのかを立体的に考えるきっかけをいただけたと思います。
- ・一人一人の障害に合わせた音声補助で子どもたちが自分の学びを取り戻していくとの井上先生のお話、大変参考になりました。
- ・浅沼さんのお話のなかで「ダイジェストで読む」ということを伺えて、今まで迷いながらやっていたので、良かったです。また実際に読み聞かせしていただけて勉強になりました。
- ・音声補助が学びを変える。すごく勉強になりました。DAISY のとなりに本を置く。やってみたいです。
- ・様々な実践例が聞けて良かったです。DAISY、「わいわい文庫」といった取り組みがあることをもっと多くの人に知らせたい、知らせてほしいと思いました。
- ・昨年初めて参加させていただき、と一っても良かったので「今年も絶対行く！」と決めていました。昨年の感想にも書きましたが、このような事業を行って下さっている伊藤忠さん、素晴らしいと思っています。また、今年の会の内容も素晴らしかったです。バラエティに富んでいて、どのお話もとても興味深く聴かせてもらいました！どの講師も素晴らしかったです。井上先生のお話、とてもとても良かったです。人としてとても良い気持ちになるお話でした！これまで自分が関わってきた子どもたちが頭に浮かんできて申し訳ない気持ちになると同時に、今そしてこれから出会う子どもたちに還元したいと思います。いつも素晴らしい講師チョイス！すごいな！と思います。どのように情報収集されてチョイスされているのかな!?!?と思います。はずれのない素晴らしい研修を無料で！本当にありがとうございます。また来年も楽しみにしているのでどうぞよろしくお願い致します！
- ・公共図書館で働いています。おはなし会で特別支援学級の子子どもたちが来られることもあります。希望等を伺って、プログラムを決めていますが、どうしたら楽しんでもくれるか担当で悩んでしまうこともあります。今日のお話はそれぞれの現場の方が分かりやすく説明してくださり、今後の参考になります。
- ・公立図書館で働いているが、障害のある人の実情を把握する機会がなかなかないため、本当に勉強になった。実際の子どもの事例も紹介していただき、支援の必要性を強く感じた。
- ・簡単なワークショップや読み聞かせの実演など、凝った発表が良かった。
- ・今回の内容は、障害の有無にかかわらず、小さな子どもを持つ親が聞いても参考になると思った。
- ・井上先生の話はとても面白かったので、2～3 時枠で聞きたい。
- ・図書館での利用をするのにとっても役立つ内容が多かったのでとても良かったです。障害のある児童が職場体験の対応にも役立てそうです。
- ・打浪先生の知的障害のある子どもへの読書支援について、障害の有無にかかわらずそれぞれの特性を持つ子ども一人一人に向き合うということについて、深く考えさせられました。合理的配慮は全ての利用者の方に誠実に向き合い図書館のできることを提供していかなくては、と思いました。どんな特性を持っている人に対しても、それぞれの方が読書を通じ自己実現できるように引き出しを持っていたいと思いました。井上先生のお人柄と情熱と優しさに勇気をもらいました。とっても楽しいあっという間の時間でした。
- ・「特別支援」を考える時には、「通常(一般的な)」+「特支(より専門的な)」の二つを理解しなければならないと思う。本日の講師はスタンダードな取り組みの柱を持ち、それから「伝わるとは」を工夫さ

れている方々だったので、「支援」「手だて」の部分がよく伝わり、自分自身の日々の実践と比べながら考える学びの機会となった。本は情報の固まりである。特別支援の子どもたちも、幼児さんから本が大好きなので、間に入る支援者が、子どもや学級に合わせてどのように情報を精選したり伝わる形に変えることができるか？が大切だと思う。また、決められた時間や場ばかりではなく、生活の中で本につなげる力を育むことも大切だと思う。「学べない」のではなく、学び方が分からない子どもたちに本を、情報を、学び方を手渡すのは「人」であると改めて思った。勉強したいと思った。

- ・特に井上さんのお話、すごかったです。バイタリティにあふれていました。とても勉強になりました。子どもたちの可能性をいかに引き出せるか、やはり一生懸命な一人がいれば！ということだと思いました。
- ・障害のある方の実情を知らなかったので、講師の方々の講演が大変参考になった。
- ・ブックリストや読み方、対応の仕方等具体的事例が多く、とても参考になりました。井上先生のお話は膨大な情報量でしたが、笑いながら、ふに落ちながら聞くことができました(まだイメージできないところもありますが)。デジタル機器の活用やサバイバルやドラえもんマンガが必要な子がいるというのも新しい情報でした。やっぱり多様な読書を保証する必要があるのだなと思いました。
- ・当時者と関わっていらっしゃる方のお話が聞けて良かったです。特に支援学校でおはなし会を行う機会があるので、浅沼先生のお話は参考にしていきたいと思います。
- ・様々な立場の方からお話を伺えた。自分の録音も役立つのかもと思えた。
- ・打浪先生のお話の中で、合理的配慮に関する内容がありました。実際、今の職場において活用できる事例も多く、大変勉強になりました。さっそく実践したいです。
- ・井上先生のお話、また是非お伺いしたいです。
- ・井上先生の実際のお子様の実例等、とても分かりやすく、気づかされる点がたくさんありました。
- ・具体的なお話がたくさん聞けて、とても参考になりました。
- ・マルチメディア DAISY は「文字」「ハイライト」「色」「音」そして人同士のつながりがあって、他の人の役に立っているのだなと改めて感じることができました。
- ・学校司書として特別支援学校で勤務しています。読み聞かせやおはなし会の進め方や準備、教員との打ち合わせの仕方など課題が多く、参考になるお話を聞くことができました。井上先生の「算数のじかん」を家庭で子ども用に使っています。今回、先生が実際に取り組まれている様子を伺うことができ、大変楽しく興味深く拝聴しました。DAISY もどんどん活用できるよう努めたいと思います。
- ・講師の方のお話、どれも分かりやすくワザの面でも心の面でも学ぶことが多かったです。自分の図書館では何ができるだろうと考えています。有意義な時間をありがとうございました。
- ・講演して下さった3人の先生方の個性が活かされた興味深い内容ばかりでした。これからマルチメディア DAISY の作成に取り組んでいく者として利用される生徒さんを身近に感じられた1日でした。
- ・井上先生の DAISY 図書を活用したお話がとても、感銘を受けました。学校図書館に働くものとしてもっと利用しなければと思いました。しかし、現場にもっと理解を深める努力が先ですね。
- ・「わいわい文庫」の概要をはじめ、学校現場でどんな風に活用されているかとても具体的に学ぶことができました。今、教育委員会の立場で特別支援学校の読書環境の充実事業を推進しています。様々な団体、お立場の方々の実績を参考に、またご協力をいただきながら進めていけたらと改めて感じました。素晴らしい学びの機会をいただきありがとうございました。
- ・実践の具体例をたくさん聞くことができ参考になりました。
- ・現状報告あり、実践方法ありで、変化に富んだ内容で良かったです。読み聞かせをする上での参考になりました。
- ・公共図書館の障害者サービス担当です。ハンディがあっても読書できる環境を整備するために模索中でしたので、今回マルチメディア DAISY の事例を学ぶことができ大変参考になりました。図書館の児童コーナーにタブレットなどを設置して子どもたちに体験してもらいたいと思います。

- ・特別支援学校へ異動して初めて読書にもバリアフリーが必要であることを知りました。本が読める子、好きな子たちは、特に何もしなくても本を読みます。読みたくても読めない子どもたちに本の楽しさを知ってもらえるよう活動していきます。今日は勉強になることばかりでした。
- ・図書館、先生、それぞれの立場で読書や読み書きに困難を抱える子どもたちを救おうとする取り組みが知れてとても良かった。
- ・様々な目先から支援について話を聞いたので良かった。
- ・知らなかったことがたくさんあった。勉強になった。逆に図書時間に本をすすめるのが恐くなった（知らないうちに無理強いさせてしまうかも…）。特別支援学級の先生に紹介、すすめてみようと思う。
- ・普段聞けない現場の声を聞くことができ、とても勉強になりました。様々な活動事例を見ることができ、とても満足しています。他の参加者の方と交流できたのもとても良かったです。
- ・公共の児童図書館の長を務めています。とはいえ、指定管理者であり、本日のテーマに関しての資料管理等には残念ながら主体的に携わっていくことができていません。ただ、日々現場で増え続けているこうした児童たちにできることはないかと思い、参加させていただきました。仲間がいる、と思える素晴らしい研修でした。少し安心できて涙が出そうな気分です。
- ・読みが苦手な子どもたちがどれだけ音声補助を必要としているかという井上先生のお話をとても興味深く聞かせていただきました。
- ・立場ごとのお話を聞くことができ、大変わかりやすく参考になりました。自分は公共図書館で働いており、今回の研修内容は、これから取り組んでいく課題であり、取り組む入口を考えることができました。職場に戻ったらマルチメディア DAISY 図書も含めて検討したいと考えています。本日は貴重な機会を与えていただきありがとうございました。
- ・参考になることがたくさんありました。
- ・読めない子にとって図書館の時間は苦痛という話は今まで考えたことがなかった。読書を支援するのはいろいろな形があることを知った。
- ・おはなし会の方法など、間に立つ自分たちの意識をもっと変えていかないとダメだと実感した。これからはもっと勉強していきたいと思う。
- ・小学校の図書室で勤務しています。障害の有無など司書まで情報は届いてきませんが、自分でも出来る取り組みのヒント(リーディングトラックの充実、コミュニケーションカードなど)をいただきました。
- ・現実の厳しい話、しかし希望のある話が聞けました。支援学級へのおはなし会に行く計画があり、参りました。しかし、他の講座もとても勉強になりました。一人一人の子ども、利用者との付き合い方、理解度が変わりそうです。
- ・「わいわい文庫」、担任の先生方にうまく活用してもらおうための方法をいろいろと学ぶことができました。さっそく実践して子どもたちの支援につなげたいと思います。今日のお話はどれもとても参考になり良かったです。
- ・学校司書をしております。朝の読み聞かせや図書室での授業と支援級の子どもたちと関わっております。それぞれに特性が違うので日々悩むこともあり、今回参加しました。「わいわい文庫」の存在は初めて知りましたので、学校に確認した上申し込ませていただきます。本日の公演は全て感動的で、何度も涙をこらえました。一人でも多くの子どもに本を読む(感じる?)喜びを伝えていかれるよう努力していきたいと思います。
- ・公共図書館にいただけでは分からない、学校での支援のお話などが聞いて大変良かったです。今まで大人向け DAISY 図書しか入れていませんでしたが、マルチメディア DAISY の活用、学校との連携など、何かこの先につなげていきたいと思いました。
- ・ご案内の項目、すべてにわたって分かりやすく解説、報告、実際の読み聞かせなど大変役に立ちそうでした。

- ・これから実際に行っていきたいと考えていた矢先にぴったりの内容だったので参加させていただきました。具体的な事例が多く、とても参考になりました。特に都立多摩図書館で行われているおはなし会の事例が勉強になりました。一言に支援と言っても様々な形があり、より一人一人によりそっていただけることを意識しながら日々に還元していきたいと思います。
- ・知らなかったことをたくさんおしえていただきました。
- ・実際に利用をし、活動していらっしゃる方のお話はとても分かりやすく、ためになりました。
- ・いろいろな立場と取り組みをしている人の話を聞いた。
- ・障害者への合理的配慮の意味が具体的に分かり、私たちが何をすべきか分かったように思います。
- ・今後の活動の参考になりました。
- ・とても楽しくためになったと思います。井上先生のお話などからも学校図書館の使命、その重要性を痛感しました。広い視野で資料を集めてそれらを手渡す努力をしなければいけないと感じました。
- ・行政が運営する図書館の臨時職員で、DAISY 関係はボランティアとして参加。障害者支援の NPO で読みあそびを担当しております。今回の講座の内容は、現実に関に立つ事柄が多く、受講して良かったと思いました。
- ・実際に活動されている方、マルチメディア DAISY を利用されている生徒の方たちについて知ることができて、貴重な経験をさせていただきました。
- ・一日の講座で様々な情報を得ることができて良かった。
- ・特別支援学校での読み聞かせを行っているが、本の選び方や、プログラムなど参考になった。
- ・井上先生の実践例、大変勉強になりました。
- ・今後、特別支援学級への支援を行わなければいけないと考えているが、おはなし会の取り組み方など参考になった。
- ・自分では経験できない現場のお話など大変興味深く聞かせていただきました。知的障害も多様であること、一律ではなく、障害を取り除けばいろいろな可能性があるんだということがよく分かりました。その可能性を伸ばす本に関わる仕事についていることを幸せに思い、仕事に活かしていけたらと改めて感じました。
- ・公共図書館で勤務しているが、DAISY の所蔵があっても、利用者は限られているため、実際の事例を聞けるということで参加させていただきました。貴重なお話をたくさん聞くことができ、勉強になりました。子どもの読める力を育てる方法を少しでも提供できるようにしたいと思います。
- ・各持ち時間が短かった。特にⅠとⅣはもっとゆっくりお話を伺いたかった。内容はとても良かったです。
- ・どのお話もとても「目からウロコ」なお話でした。特に「特別支援学校での読み聞かせ」のお話が、今後の支援学校さんでのおはなし会で生かしていきたいことばかりでした。
- ・打浪さんのお話は大変分かりやすく良かったです。浅沼さんの読み聞かせ、とても心地良かったです。最後の井上さんのパワフルなお話に、力をいただきました。
- ・毎年特別支援学校に読み聞かせ、おはなし会へ行く際のプログラム等悩んでおり、今回の研修で聞いたことをヒントにプログラムを組んでいけたらと思いました。知的障害を知ることで、利用者への対応など、日々の業務に役立てていけたら良いと思いました。
- ・特別支援学校の子どもたちへのおはなし会を行っています。具体的な事例を挙げて説明していただいたので、大変参考になりました。子どもの様子に気づくこと。その子に合った手立てが見つかることがいかに重要なのか、とてもよく分かりました。
- ・とても感動しました。特に音声補助が学びを変えるという井上さんのお話では、実際に支援を行ったことで、ここまで人生を変えられている子がいるということを細かく知ることができました。ぜひ図書館でも PR していきたいです。します！
- ・読み聞かせする際の子どもの実態に応じた選書のコツ等の話が聞けて良かったです。授業で取り入れていきたいと思います。

- ・読み書きに困難を抱えている子どもたちと学んでいます。自分の力不足を感じ(痛感して)おりますが、本日の講座で学ばせていただいたこと、少しでも活用していけるようにしたいと思います。
- ・学びのアプローチを少し変えることで勉強や読書が可能になる子がいることを改めて実感しました。
- ・どの講師からも具体的で丁寧なお話が伺えました。
- ・3 人の講師の方のお話がそれぞれに興味深かったです。知らないことがたくさんあり、知っていれば理解も深まるし、助かる人もたくさんいる、という当たり前のことに改めて気づかされました。
- ・未記入 3

やや満足の原因

- ・障害の方(お子さん)たちの実情をよく知ることができました。DAISY 図書の普及により学習支援になればいいなと思っています。
- ・全ての講座が貴重な情報をいただいた時間となりました。障害のある子どもたちと本をつなぐ職につきながらも、基本的な知識さえ乏しいので、もう少しそれぞれの講師の方からお話を伺いたかったと思いました。
- ・内容が濃く、多いのに、1 時間では短すぎます。なので「やや満足」とさせていただきましたが、実際の内容はとても満足です。が、消化不良気味。午前の特別支援学校での読み聞かせで、「ダイジェストで読む」ということについて、苦悩がよく分かりましたが、絵本の世界を楽しんでほしい、ということに共感、納得しました。
- ・読書に対するバリアフリーのために必要なことが分かりました。また個人的に障害のある子の放課後デイサービスなどで読み聞かせをしているので参考になりました。私のいとこの子どもにも「漢字が絵や図形に見える」子がいます。うまく支援をしているのでしょうか…。彼にもそんな悩みがあるのでうまく理解を身内の中でもしていけたら…。
- ・支援学級の子どもたちに読み聞かせをしています。一から勉強になりました。ありがとうございました。
- ・2 日間くらいに分けてもう少しゆっくり聞いてみたかったです。とても勉強になりました。
- ・講義に質問時間は不要です。
- ・「読み聞かせ」「おはなし」には実際に携わったことがないので。
- ・ひとつずつの講座が 1 時間以下であったのでコンパクトで良かった。
- ・あと 30 分聞きたい。井上先生のお話は早口な分、かえって集中できました。
- ・井上先生のお話が参考になりました。
- ・情報が多く勉強になりました。井上先生のお話を、もう少しゆっくり、じっくり、たっぷりお聞きしたかったです。
- ・話のスピードが早過ぎた講座もあった。
- ・読み聞かせがとても良かった。
- ・特別支援教育の大変さと楽しさを感じることができた。
- ・時間がなくて質問タイムがなかった。早口の講師のお話が理解できなかった。
- ・国際子ども図書館の見学が特別支援学校も可能なことを知りませんでした。機会があればぜひ活用させていただきたいと思いました。
- ・井上先生のお話、とてもためになりました。活用している ITC 一覧、使い方…プリントが別になれば嬉しかったです。
- ・グループワークみたいなことはやめてほしかったです…。知識を得に来ているのだし、その時間お話を伺いたかった。
- ・自分の学級の児童に活用できそうなことを学べた。また、読書や本にふれる楽しさの味合わせ方は、様々な方法があることも改めて学べた。
- ・未記入 3

やや不満の理由

- ・去年から特別支援学級でお話会の依頼があり、自分たちで工夫しながら行っていますが、他の団体のほうがどのような点に気をつけたりしているかということを知ることができたり、実演なども見ることができて、今後の業務に活かして行けると思いました。

3. その他、お気づきの点がございましたら何でもお聞かせ下さい。

- ・社会の側が作り出している障害をもっと知りたいです。「自分が普通」と思っていることで気づかないまま障害をつくる側に立ってしまうことがあると思うので。また、普通学級に在籍している支援の必要な子どもたちの中には、家庭の「貧困」に起因しているケースもあるのではないかと思います。そういったことも障害の一つと考えなくてはならないかもしれません。
- ・今後もぜひ学ばせていただきます。
- ・障害のある方が読書を楽しむことができるように様々なものがあるということを知りませんでした。何も知らずに児童デイサービスで支援のお手伝いをしていたのですが、この度特別支援学校の学校司書になり、慌てて勉強しているところです。このようなことを子育て中の方か、もっと関係のないと思っている方にも知るきっかけがあったらよいと思います。テレビや新聞などでとりあげられたら、関わりたいと思う方もいると思いました。
- ・聴講者の中に、視覚障害がある方がいらっやったと思います。資料(スクリーンに映し出されたもの)の説明が、その方にも分かりやすいように情報補償がされているのかが気になりました(隣で状況の説明をする方がいらっやるなど)。勘違いでしたらすみません。
- ・「わいわい文庫」をはじめ、子どもたちが使っている様子を知ることができ良かった。
- ・機会があればまた参加したいと思います。「わいわい文庫」もとても興味があります。
- ・「国際子ども図書館」の存在を初めて知ることができました。機会あるごとにその存在をお知らせしたいと思います。そして「伊藤忠記念財団」のことも。
- ・良いものを作っても使われなければ意味がない。どうぞたくさん普及させてください。
- ・東京都立多摩図書館発行の「特別支援学校の読み聞かせ」は配属当初バイブルでした。今回直接お話や実演に接することができて嬉しかったです。伊藤忠記念財団さんにはいつもお世話になっております。本日は参加させていただいて大変ためになりました。
- ・壁に手にとって実際に見られる資料や、昼休みは iPad を使って DAISY を操作することができました。隣の部屋にも資料を置いてくださり、細やかなご配慮に感謝しております。講義はもちろんですが、充実し、参加して本当に良かった！と思える研修でした。
- ・子どもは特別支援学校に通い、毎週 1 回自宅で言語聴覚士によるセッションを受けています。DAISY のこと、「わいわい文庫」のことは初めて知りました。知能が低いので先生が今はまだ無理とご紹介くださらなかったかもしれません。親としてこんな素晴らしいことがある、あきらめたくないと思いました。
- ・特別支援学校の教員の方々にもこのような研修が実施していただけると理解が深まると思います。図書館からの目線とは違う困難さがあるでしょうが先生方の意識に働きかけていただけると、学校図書館との連携も更に図られると感じました。井上先生のような先生がたくさんたくさん増えてくださることを願っています。
- ・去年が NDL のはじめてだったとは知らなかったです。出会えたことをとても嬉しく思っています。
- ・青年、大人の集中力の維持、先生からの話を聞くと長い話、自分が話さないのが気持ちよくなること、説教を聴くための緊張感のことについて、流行とひらがなの学びについてなど、企画を立ててイベントを作ってください。
- ・ブリキや魔法のプロジェクトとの協働に期待しています。DAISY の音声の録音はプロの方でしょうか。朗読や読み聞かせ大好きで続けているので協力できたらいいなと思います。HP で募集とかあれば応募したいです。

- ・また、このような勉強会があれば参加したいと思います。井上先生の話はもっと時間をかけてゆっくり聞きたかったです。
- ・井上先生のお話、とっても良かったです。子どもたちへの愛情が感じられました。ただ早口なのは構わないのですが、言葉の途中が聞き取りにくい発音をされるので残念でした。活舌の問題だと思います。
- ・通常学級にいるマルチメディア DAISY の利用例を知りたい。通常学級の先生たちの意識はどの程度なのか、マルチメディア DAISY の浸透がどれほどか知りたいと思います。嬉しい出会いもたくさんありますね。幸せな気持ちになりました。
- ・松江からありがとうございました。帰ったらご主人の本読ませていただきます。
- ・「わいわい文庫」の具体活用を検討したいと思った。
- ・困っている方々の周りには先生方、職員の方が急かし過ぎると思って日々見えています。マルチメディア DAISY を勧めたいと思うのですが、いつも余裕のなさそうな様子におじけづいています。
- ・申し込み方法をもう少し詳しくご説明いただけると良いと思いました。
- ・どのプログラムも大変勉強になりました。障害の状態は千差万別で、人により抱えている課題が異なるということについて、以前より想像できた気がしました。逆に考えると、他者よりも感覚が鋭いところもたくさんあるということなのかなと思いました。相手の様子をよく観察し、想像をめぐらせて、状態をできるかぎり正確に理解し、合理的な配慮ができるようにしたいと思いました。小学生のうちから、他者を理解するという意味で、学べると良いことなのではないかと思いました。
- ・経済的に困難な家庭で育つ障害があるお子様たちが(大人も)、皆このような支援を受けられるよう願います。
- ・「おはなし会」の順番で、テーマが変わる際どのようなつなぎ言葉を使っているのか伺いたかったです。例えば、車の話から食べものに移ったり、わらべ歌や手遊びは関連性が必要なかなと思いました。なるべくひとつのテーマをつなげたおはなし会をと、行っています。
- ・素晴らしいお話を聞かせていただきありがとうございました。大変なことだと思いますが、これからも支援をよろしくお願いします。この支援に助けられる子どもたちの姿が浮かびます。私も2年がかりで図書館に「りんごの棚」を今年作ることができました。これからも頑張っていきたいと思います。
- ・「わいわい文庫」の作品がもっと増えるとよいです。そのために私たちは何ができますか？またこのような素晴らしい規格や機能が、雑誌や新聞、インターネットにも広めるには何が必要なのでしょうか？もっともっと、この「わいわい文庫」について、世の中の人々に知って欲しいです。高齢者の方にも有用ではないでしょうか？
- ・あと 30 分くらい、時間が長くていいくらいでした。もっとじっくりと理論も実践も伺いたいと思うくらい、有意義な時間でした。
- ・一日長いと思いましたが、やはり時間は足りなかったですね。こういう研修の機会をまた設けてください。
- ・「わいわい文庫」のご担当者の方の思いにも感銘を受けました。
- ・「わいわい文庫」の活用の仕方が具体的によくわかり、また必要性を改めて感じました。
- ・講師も受講者も圧倒的に女性ばかりで驚きます。日本の男性は障害者支援については学ぶ必要がないほど障害者支援についてよく知っているのか or 全く興味がないのかどちらなのでしょう？このバリアフルな社会を作っているのは、男性健常者中心の社会だからだと思いますが、その男性たちがこういう研修に全く出てこないのは問題だと言えるのでは？
- ・メインの方のお話は 1 時間だと短い気もしました。井上先生のお話、最低でも 1 時間半は聞きたかったです。
- ・特に井上先生の話は面白く、6 時間コースも聞いてみたいと思いました。
- ・主催の方の情熱が素晴らしかったです！これからも頑張ってください。私も頑張ります。
- ・檜木さんの話し方はお昼を取った後では眠気を誘うので午前にするのが良かった。

- ・「わいわい文庫」、小学校への貸出ができるようになり、実際に活用できています。特に小学校では1対1で担当と利用できている状態です。その児童は視覚に障害があり、物や形などが難しいので赤ちゃん向き(幼児)の物を好んでいます。
- ・おはなし会、見学など、記録をしっかり残し、共有し、ひきついでいく大切さを感じました。
- ・昨年参加したときは予備知識がなく、お話を伺いながら自分の知らないことにパニックになりそうな気持ちでしたが、今年は特に予備知識を持っていなくてもすんなり入っていけるテーマが最初があり、心をつかまれました。来年も参加したいです。来て良かったです！
- ・障害はつき合うもの、支援というメガネを日々探し、見つけるまでは本当に苦しかったりくやしかったり…。ずっと障害の重い子どもたちと生活をしてきて地域で発達障害の子どもたちに出会い、通常学級で頑張る困り感のある子どもたちを前に何もできずに見つめるだけだった日を思い出した。「知らない」ということが支援の遅れになるのはくやしい。少しずつ学んでいきたいと思う。毎日、子どもたちは成長するので、申し訳ない思いでいますが、そんな日々が少しでも短くなれば…。本日の学びに感謝して。
- ・3人発表がそれぞれの立場でのお話で良かったです。
- ・「わいわい文庫」の活用を考えていきたい。
- ・Ver.Blueの誰でも見られる盤に、普通の物語がもっと入らないかなあと今日のお話を聞いて思いました。
- ・今後も校正等でお世話になるかと思えます。よろしくお願いします。
- ・わらべうたの有効性が取り上げられていて良かった(乳幼児親子向けのおはなし会をしています)。学校関係者(教員・保護者)も集めて理解を深めてはどうでしょうか。
- ・昨年も参加させていただきましたが、今年は読み聞かせもあり、他の講座の内容も充実していて、とても有意義な時間でした。
- ・世田谷区在住です。世田谷区の図書館に問い合わせたところ、あまり活用されていないようです。理由として、1枚のCDに多数入っていて、個別には貸出せず通級や特別支援学級の先生くらいにしか貸出せないとのことでした。CDを分ける等の手段をお伝えくださるか何か良い方法があると子どもたちが自分で選べると思いました。
- ・色々な方が手を差し伸べて皆さんが明るい人生を歩んでいければと思っています。「わいわい文庫」さんの活躍を心より応援しています。
- ・今後も学ぶ機会をいただきますようお願い申し上げます。
- ・この内容(実践的なもの)であれば2日間でもいいかと感じました。
- ・この研修があることを初めて知りました。全国的に行っているとのことですが、もっとたくさんの図書館スタッフまで行き届くようにしてほしいです。もっと読書支援に対する障害に対する理解が広がると思っています。
- ・伊藤忠さんの話が長すぎ、この時間があるなら、もっと先生たちの話を聞きたかった。
- ・DAISYの活用努力、がんばりたいと思えます。
- ・初めての参加でしたが、今後も注目していきたいと思いました。
- ・図書館での「わいわい文庫」の具体的な活用例が知りたいです。どうやって必要な方の手に届くのか。存在を知らせることができるか。
- ・シンポジウムのようなものも聞いてみたかったです。今日の内容はとても満足しています。
- ・読みの困難のある子に広めていきたいと思えます。
- ・数年前にこどもの城での研修を受けさせていただきました。日常の業務では知ることができないことを知る機会になり感謝しております。
- ・特別支援学級がある学校に学校訪問をする際にこちらの活動の話ができればと思いました。
- ・会場が寒かったです。 3
- ・未記入 63

